

ながさき 農委だより

令和8年9月
第87号



《掲載内容》

- ・農業委員、農地利用最適化推進委員の紹介
- ・令和7年度意見書への回答
- ・令和7年度農業委員会視察研修について
- ・地域の話
- ・農業者年金 など

— 表紙の写真について —

(収穫日: R8.6.10)

茂木小学校の生徒による露地ビワの収穫の様子です。
場所は小学校の裏山を少し登ったところにあります。
農地利用最適化推進委員の中山委員から収穫方法を教えてもらい、楽しそうに収穫し、美味しそうに実を頬張っていました。
でも、雨天などにより収穫時期のタイミングが少し遅れたせいか熟れすぎてしまった実もあり、人間の都合通りにならない自然の厳しさを知った1日でもありました。

編集・発行 長崎市農業委員会 〒850-8685 長崎市魚の町4-1 (長崎市役所14階)

Tel.095-820-6561

ホームページアドレス <https://www.city.nagasaki.lg.jp/soshiki/36.html>



新しい農業委員と農地利用最適化推進委員が決まりました

任期満了に伴い、新しい農業委員(19名)・農地利用最適化推進委員(24名)が決まりました。任期は令和11年7月19日までの3年間です。どうぞよろしく願います。

就任あいさつ

会長 平尾 政博



農業者の皆さまには、日頃より本市の農業委員会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度の農業委員の改選に伴い、新体制がスタートいたしました。

私たち農業委員会は、大切な農地を次世代へ引き継ぐため、農地の適正な利用や集約化に取り組んでいます。

現在、高齢化や担い手不足に加え、世界情勢の緊迫化による資材・肥料の高騰や、気候変動への対応など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況だからこそ、未来の農地利用の設計図である「地域計画」の実現に向け、皆さまと連携を深めることが不可欠です。

私たち委員一同、地域の実情に寄り添い、一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

旧長崎地域

農業委員



岩本 隆
西山、木場地区



森内 悟己
泉、三ツ山地区



柳川 八百秀
竿浦、平山地区



浦川 英敏
西山、木場地区



中村 数昭
出雲、戸町地区

農地利用最適化推進委員

東長崎地域

農業委員



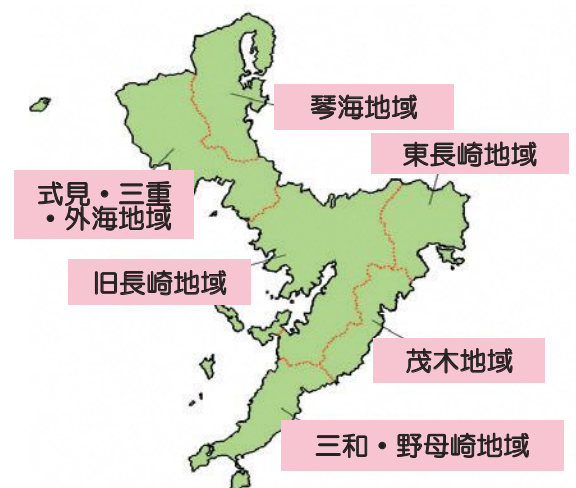
尾崎 正孝
戸石、牧島地区



山下 和孝
滑石、北陽地区



吉岡 信夫
手熊、三ツ山地区





松本 守
古賀、松原、
川内地区



松尾 健人
芒塚、網場、
田中地区



本田 雅博
中里、戸石、
牧島地区



野口 洋太郎
現川、平間地区

農地利用最適化推進委員



松尾 隆治
網場、潮見地区



増田 茂
松原、古賀、
船石地区



城戸 利美
田中、平間地区



中山 辰也
茂木地区



浦川 雅晴
北浦、田手原、
早坂地区

農地利用最適化推進委員



村田 美津枝
(会長職務代理者)
田手原、北浦、
早坂地区



峰 忠幸
飯香浦、太田尾地区



河平 久明
宮摺、千々、
大崎地区



上川 満治
茂木地区

農業委員

茂木地域



宮崎 好徳
四杖、式見、
牧野地区



小方 貴子
松崎、三重、
鳴見地区

農地利用最適化推進委員



野本 英世
三重、松崎、
鳴見地区



岩永 一也
神浦、出津、
黒崎地区

農業委員

式見・三重・外海地域



三浦 芳人
千々、宮摺、
大崎地区



野口 弘人
太田尾、飯香浦地区



松本 貞幸
蚊焼、香焼、
黒浜地区



松浦 行信
宮崎、脇岬地区



橋口 清
脇岬、高浜、
野母地区

農地利用最適化推進委員



森保 欣也
川原、為石、
宮崎地区



柴原 恵
高浜、野母、
脇岬地区

農業委員

三和・野母崎地域



山口 栄治
黒崎、神浦、
出津地区



川口 智也
琴海村松、
琴海戸根地区



今村 秀喜
琴海大平、
琴海尾戸地区

農地利用最適化推進委員



森山 安男
琴海戸根、
西海地区



平尾 政博(会長)
琴海尾戸、
長浦地区



野中 麻美
琴海形上、
琴海大平地区

農業委員

琴海地域



山口 憲昭
川原、藤田尾、
布巻地区

《お世話になりました》
任期満了に伴い次の方々が退任されました。
【農業委員】
植田 正和(旧長崎地域)
井川 義英(式見・三重・外海地域)
池田 憲二(東長崎地域)
山口 眞佐栄(茂木地域)
山崎 実男(茂木地域)
永岡 亜也子(中立)
【農地利用最適化推進委員】
川添 孝則(琴海地域)
濱口 雅洋(琴海地域)
三浦 信男(三和・野母崎地域)
鶴田 安明(式見・三重・外海地域)



木村 眞実

農業委員

中立委員



松林 和幸
西海、琴海戸根地区



田中 幹生
琴海戸根原、
琴海形上地区



久保 正
長浦、琴海形上地区

令和7年度農地等利用最適化推進施策に関する意見書への回答について

令和7年11月に提出した令和7年度農地等利用最適化推進施策に関する意見書について、長崎市より回答がありました。主な内容は次のとおりです。

1 担い手への農地利用の集積・集約化

(1) 地域計画の実現について

目標達成に向けた取組みと目標地図の精度向上を要望

【回答】関係機関と連携し、農地中間管理事業を活用して新規就農者と農地のマッチングを推進するとともに、基盤整備や施設整備の支援により担い手の確保を図ります。また、意向調査や懇談会を通じて目標地図の精度向上に努めます。

(2) 農地の基盤整備について

小規模基盤整備への支援制度の継続・拡充及び設備更新や維持管理への支援を要望

【回答】小規模基盤整備を実施する団体に対する補助制度を設けており、令和7年度からは大規模基盤整備の検討費用を補助対象とし、構想計画の作成を推進します。また、農業用水利施設補修に係る補助について、令和8年度に予算を増額したところであり、農道・用水路の維持管理資材も支給しています。

2 遊休農地の発生防止・解消

(1) 多面的機能支払交付金について

事務処理を担う組織の集約化及び事務手続きの簡略化を要望

【回答】本市には土地改良区がないため事務組織の集約化は困難ですが、一連の事務手続きの簡略化については、引き続き県を通じて国に要望するとともに、必要に応じてサポートを検討します。

(2) 有害鳥獣対策について

市管理の農道等の適切な維持管理を要望

【回答】農道等の維持管理は必要性・緊急性の高いものから優先して対応していきます。また、令和8年度から有害鳥獣対策担当係を設置しており、総合的な有害鳥獣対策を進めます。

3 新規参入の促進

(1) 県内の農業高校生・農業大学校生への働きかけについて

学生へ就農支援制度等の周知を図ることでの就農促進を要望

【回答】新規就農者向けリーフレットを作成し、支援制度情報の周知に努めています。今後は県と連携し、きめ細かな情報提供と相談体制の充実を図ります。

(2) 親元就農へのさらなる支援について

親元就農支援制度の継続・拡充及び経営移譲給付金制度の創設等、初期の経営安定に向けた取り組みを要望

【回答】令和7年度から農業後継者を対象に含め、機械更新も可能な農業新規参入促進事業を展開しており、今後も継続していきます。また、国の給付金制度である新規就農者育成総合対策の経営開始資金は、現状の維持継承の場合は対象とならないことから、給付要件緩和について県を通じて国に要望します。

(3) 食農教育について

子どもたちへの食農教育の推進を要望

【回答】農業センターにおける幼児を対象とした収穫体験の実施、学校給食への地場産食材供給の推進、子ども農山漁村交流体験事業への支援などを行っています。また、令和8年度からは、グリーンツーリズム体験プログラムの情報発信を強化します。

(4) 定年帰農者への支援について

定年帰農を促進するため、さらなる支援策検討を要望

【回答】令和7年度から農業新規参入促進事業において、定年帰農者を含む農業後継者を補助の対象とするよう見直しました。また、令和8年度からは就農事例の情報発信と農業センター研修の周知を強化します。

視察研修の報告です！

令和8年1月13日～14日、他都市の農業委員会等の活動事例や取組みに対する意識を学ぶことにより、農業委員の活動の活性化及び資質の向上を目的として、福岡県八女市及び糸島市において視察研修を実施しました。

1日目

【研修内容】

JAふくおか八女・八女就農支援センター：新規就農者への支援について

JAふくおか八女の概要や新規就農者支援の取組み内容等について、資料に基づき説明を受けた。

その後、研修施設であるハウス（ナス・いちご）の現地視察を行った。

【委員の感想】

- 新規就農にあたり、研修生に選出されるまでの条件は厳しいが、選出されてからの指導体制が充実していて、独立就農後もしっかりとしたサポートにより、安心して就農できると感じた。
- 少子高齢化による農家の減少と、それに伴う遊休農地の発生は長崎市においても同一の環境と考える。50歳以下を対象とした営農希望者を、JAと市が一体となって支援する体制は長崎市としても学ぶべきと感じた。



2日目

【研修内容】

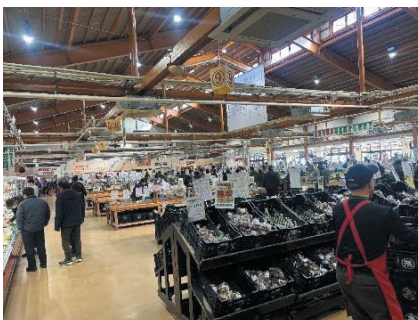
JA糸島 直売所「伊都菜彩」：直売所「伊都菜彩」について

JA糸島の概要や直売所「伊都菜彩」の取組み内容等について、資料に基づき説明を受けた。

その後、直売所「伊都菜彩」の施設見学を行った。

【委員の感想】

- JAの共販から離れた組合員や高齢化する組合員、女性担い手が活躍できる場として、地産地消運動の拠点として設立されていて、来店客数や売上高を高水準で維持しているのは注目に値する。
- イベント等に力を入れることで、来客のマナー化を防止する対策等が行われていた。



地域の話題

旧長崎地域 — 福田つんなむファーム —

耕作放棄地の畑を再生し、地域の笑顔を育む場所に！

「つんなむ」——長崎の言葉で「連れ立つ」「一緒に行く」という意味を持つこの名を掲げ、地域を元気にしている団体が長崎市福田地区にあります。

その名は「福田つんなむファーム」。

荒れ果ててゆく耕作放棄地を前に「このままでは忍びない」と黒田代表が立ち上がったのは令和2年のことでした。先人が守った豊かな土壌を蘇らせ、地域の絆を紡ぐ場所にしたいという熱い想いから、かつて草木が生い茂っていた土地を活気ある畑へと蘇らせました。

今回は、農を通じて世代を超えた絆を紡ぐ、ファームの活動をご紹介します。



黒田唯介代表



写真左：小浦町にある農園
写真中上：園児の農作業体験
写真中下：つんなむ農業塾
写真右：福田子ども食堂

園児たちの農作業体験 ～土に触れて命を学び、次世代へつなぐ～

近隣のくるみ西幼稚園の園児たちが定期的に畑に通い、野菜を育てています。野菜の花を初めて見る子どもも多く、新しい発見や気づきを得て、命の大切さを学んでいます。

熟年者向け農業塾の開催 ～大人の部活動で技術と生きがいをつなぐ～

シニア世代の生きがいと健康づくりを目指す農業塾です。専門家の指導のもと、同年代の仲間と共に土づくりから本格的な栽培まで楽しく学び、まるで大人の部活動のような新たな絆を育んでいます。

子ども食堂への野菜提供 ～優しさを食卓へつなぐ～

ファームの新鮮な野菜を最高の形で届けるため、子ども食堂の調理スタッフが愛情を込めて包丁を握ります。「おいしく食べてね」と願うスタッフの奮闘と優しさが、子供たちの元気な笑顔を支えています。

農業者年金入っていますか？

老後の備えは万全ですか？

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者である農業者の皆様が、より豊かな老後生活を過ごすことができるよう国民年金（基礎年金）に上乗せした任意加入の公的年金制度です。

次の3つの要件を満たす人は、だれでも加入できます。

① 国民年金第1号被保険者であり、保険料納付免除者でないこと。

（また、国民年金付加保険料納付者であること）

② 60日以上農業に従事する者であること。

③ 65歳未満であること。（60歳以上は、国民年金の任意加入保険者であること）

また、自分名義の農地を持っていない農業者や、配偶者、後継者など家族農業従事者の人も加入できます。

世帯主が65歳以上二人以上無職世帯の月平均消費支出は264,149円（2025年総務省家計調査）

詳しくは… 農業者年金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

詳しくはこちら▼



農業者年金はメリットがたくさんある
終身年金です。

加入手続きはお近くのJAへ

農業者年金受給者協議会はあなたの加入を待っています！

ご存じですか？県内には13の農業者年金受給者協議会があり、年金の安定受給や受給者同士の仲間づくりを目的として、様々な活動をしています。それだけでなく、将来にわたり受給者の老後生活の安定が図られるように、年金機構や他県協議会と一体となって制度の改善を国に要請してきました。

長崎市農業者年金受給者協議会の会員は随時募集中です。

お気軽に農業委員会事務局までお尋ねください。（電話 095-820-6561）

【編集後記】

今回もたくさんの方に取材のご協力をいただき、農委だよりを発行することができました。誠にありがとうございました。

取材などで、皆様の地域にお邪魔することがあるかと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員



農業者の視点でお届けします！

※お申込みは、地域の農業委員
・農地利用最適化推進委員か
農業委員会事務局へ

毎週金曜日発行
月額九百円

◇農業・農政の動きを
分かりやすく解説！
◇先進技術・新製品・新品種を
いち早く紹介！
◇暮らしと経営に役立つ
情報がいっぱい！

全国農業新聞を
ご購入ください！